

2024年9月例会報告

低山トレッキング 雪入ふれあいの里公園周辺を歩く

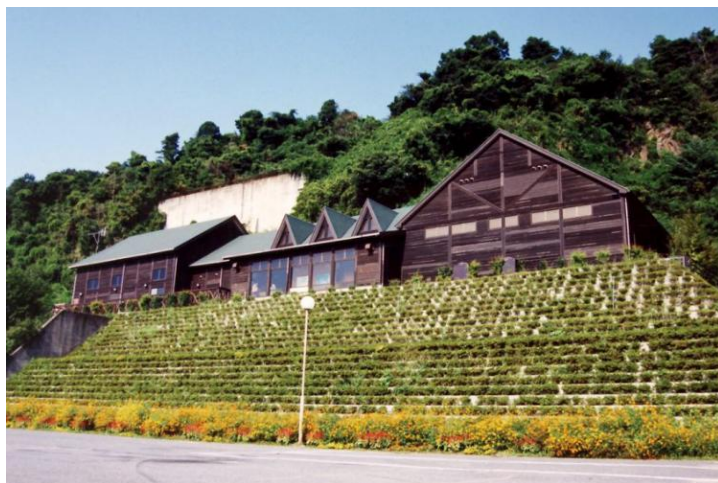
開催日	2024年9月23日（月・祝）
集合場所	雪入ふれあいの里公園
集合時間	9時30分 9時45分スタート
コース	雪入ふれあいの里公園～拾光寺観音～金鉾山跡～ 中央青年の家～いやしの里～剣ヶ峰広場（昼食）～雪入山 345m ～あきば峠～あきば山～黒文字平～浅間山～三ツ石森林公園 ～雪入ふれあいの里公園
ゴール時間	13時30分
距離	12km 団体歩行
参加者	12名
天候	晴れ

ウォーキング状況

猛暑が続いていましたが、秋分の日（22日）から少し秋の気配も感じ、今日は晴れ、吹く風はさわやかで絶好のウォーキング日和となりました。スタート地点は水郷筑波国定公園の筑波山系の東部に位置する、「雪入ふれあいの里ネイチャーセンター」です。

このセンターは採石場跡地の自然を復活させ、休憩施設、自然体験、自然観察が楽しめる施設となっています。

ハイキングコースも設定されていて、今回はその「雪入しぜんの道1」（案内板では「眺望コース」）を少しアレンジしたコース設定としました。



駐車場西側の坂を登った所に、眺望コースの案内板があり、中央青年の家を目指ばOKです。

入口は草が茂っていて少し不鮮明ですが、直ぐに林の中のハイキング道になり、拾光寺の石造り十一面観音菩薩像にでる。1743年建立と刻まれています。このお寺の由来はよくわかっていないそうです。

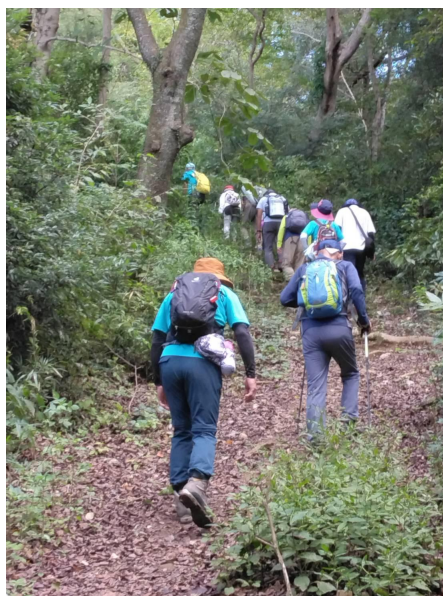


お参り後、足を進めると金鉱山跡への分岐案内板があり、そこから少しキツイ上り坂を進み、谷筋に降りると金鉱山跡にでる。筑波山系に金鉱山があったのは意外で、ネットで少し調べたが詳細は良く判らなかった。当然金鉱石も見つかりませんでした。



写真の真ん中の後ろに採掘跡の洞窟があるが、崩落の危険もあるので中を覗くことは出来ませんでした。記念撮影後、もう一つの採掘跡へ、ここは採掘跡が崩落で完全に埋まっていました。

草が茂っていて少し不鮮明な谷筋を降りると林道雪入沢線に出ます。舗装道となり登り坂が続きます。中央青年の家の横を過ぎると、砂利道となりますが、さわやかな風に応援され「ホテルいやしの里」に到着。ここから、再び山道へ、直ぐに、直登コースと眺望コースの分岐にでますが眺望コースへ。緩やかな登り、下りを繰り返し標高を稼ぎます。



最後の急坂（標高差約60m）を登り、昼食場所の剣ヶ峰に到着です。



霞ヶ浦、土浦市内を一望しながらの昼食です。私達以外にも、家族連れ、マウンテンバイクの人々等で賑わっていました。

昼食後、ここから尾根道歩きの森林浴時間です。
雪入山の山頂（345m）、あきば峠、あきば山（275m）を経て黒文字平へ



ここからは、普段見られない角度の筑波山が一望できます。
浅間山の山頂への急坂を横目に三ツ石森林公園への下り坂を進むと
「森林公園のもりの小屋」に到着です。
トイレ休憩後、三ツ石林道を雪入れふれあいの里公園まで約3kmの
道のりを歩いてゴールです。
お疲れ様でした。



以 上
松崎 記